

問1 義歯修理の説明として正しいのはどれか。

- a 義歯床破折時には破折部のレジンに削合せずに行う。
- b 人工歯脱離の修理時には脱離した人工歯を再利用してはいけない。
- c キャストクラスプの鉤腕破折時は床内の鉤脚は残したまま修理する。
- d** 義歯の再破折を防ぐために破折線に対して垂直に金属線を埋入する。

問2 リベースとリラインの目的について組み合わせが正しいのはどれか。

- a** リベース — 顎堤粘膜との再適合
- b リベース — 咬合関係の修正
- c リライン — 咬合高径の回復
- d リライン — 研磨面形態の修正

問3 オーバーデンチャーを定義する上で最も重要な要素はどれか。

- a 全部床義歯であること。
- b 口蓋隆起や下顎隆起が存在していること。
- c 義歯の維持のために磁力を利用していること。
- d** 床下に歯根あるいはインプラントが存在していること。

問4 アイヒナーの分類C3症例における金属床義歯製作時の説明はどれか。

- a 人工歯には必ず陶歯を用いる。
- b** サベイングにより義歯の着脱方向を決定づける。
- c** 上顎の金属フレームワークには一部金属型を適用させる。
- d 粘膜面の修正には積極的にリラインを適用させる事ができる。

問5 ノンメタルクラスプデンチャーの説明として正しいものはどれか。

- a 構成要素にはメタルを使用しない。
- b** 人工歯には保持孔が付与されている。
- c 修理時には常温重合レジンが有効である。
- d 食事時に使用することは推奨されていない。